

KDDIグループとの地域活性化を目的とした連携に関する協定

主催：東松島市

1.取組タイプ	
I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要	相互連携と協働による活動を推進し、双方の資源を有効に活用することにより、SDGs未来都市に関する事業を推進し地域活性化を図ることを目的とする。	
	3.活動開始時期	締結日：平成30年11月30日 協定期間：締結日から1年間（その後双方異議無ければ1年間ごと自動更新）
4.取組規模（会員数）		

5.取組の詳細
<p>➢ 協定背景</p> <p>2011年の東日本大震災以降、復興事業と地方創生を進めていく中で、市とKDDIグループは、これまで「東松島市へのKDDIグループ社員出向」「スマート漁業」「農園事業」の取り組みを行ってきた。2018年6月に市がSDGs未来都市として選定を受け、復興の先の未来のまちづくりを見据え、持続可能なまちづくりに取り組んでいく中で、今後は双方の資源を有効に活用することで、相互連携と協働による活動をより一層推進し、SDGs未来都市として市が進める持続可能なまちづくりの推進による地域の活性化を目的として、協定を締結したもの。</p> <p>➢ 協定内容</p> <p>(1) スマート漁業に関する事項 漁業者が活用しやすいスマートブイの開発、漁獲量予測の精度向上、シロサケ以外の魚種へ展開する実証等に取り組む。</p> <p>(2) スマート農業に関する事項 通信技術を活用した農作物の収量および食味の向上に関する実証を行い、地域の障害者および高齢者の雇用を持続的に行っていく。</p>

6.取組の活動予定・スケジュール
<p>スマート漁業：浜市地区にて地元漁業者との連携のもと、スマートブイの実証作業を継続。</p> <p>スマート農業：市内野蒜地区の「幸満つる郷KDDIエボルバ野蒜」の圃場にて、IT/IoTを活用した実証実験を継続。</p>

7.関連するゴール	
-----------	---

8.取組イメージ
<p>スマート漁業</p>  <p>スマート農業</p>  <p>“ゼロアグリ”等によるミニトマトの栽培管理</p>

関連URL <https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/22,17287,71,html>